

メタン発酵バイオガス発電のスタートアップ企業 “アーキアエナジー”に出資

CVCの取組み

- アーキアエナジー株式会社と共創し、メタン発酵バイオガス発電事業に参入するとともに、発電で副次的に発生する残渣の有効利用を推進し、循環型システムの構築を目指します。
- 「地産地消」を体現する地域に密着した事業であり、地域の静脈インフラの一端を担う事業であるメタン発酵バイオガス発電を起点として、その先にある“ゼロエミッション”のまちづくりに展開します。

◆ 取組概要

取組背景

- アーキアエナジー株式会社と企画・開発段階から共創することで、メタン発酵バイオガス発電の経験や廃棄物のリサイクルノウハウを蓄積し、“まちづくり（ゼロエミッション）”への活用を目指します。
- 既に事業化実績のあるアーキアエナジー株式会社と共創することで、継続的・安定的な事業開発を目指します。
- メタン発酵バイオガス発電事業に参画することで、西松の“新たな強み”の獲得を目指します。

◆ バイオガスプロジェクトを通じて実現すること

環境への貢献

- 従来、焼却処理される食品残渣からエネルギーを生産

エネルギーの地産地消

- 地域から出る食品残渣を原料とし、エネルギーを地元で消費

地域経済活性化への貢献

- 雇用の創出（発電所にて地元雇用を創出）
- 原料の集荷において、地元運搬事業者と連携
- 施設整備において、地元事業者と連携

地域とのつながり構築

- 施設から排出される、“消化液・廃熱”を活用
- 環境教育の場として見学者を積極的に受入
- 地元イベント等への積極的な参加
- 地元との環境保全協定や防災協定などの締結

◆ アーキアエナジー株式会社

社名	アーキアエナジー株式会社
所在地	東京都港区虎ノ門1-13-1
代表者	代表取締役社長 植田徹也
資本金	53百万円（資本準備金135百万円）
設立日	2015年1月15日
主要事業	メタン発酵(中間処理)/発電事業/収集運搬/ 廃棄管理業務/売電事業/消化液の堆肥・液肥化 他

羽村バイオガス発電所



自社工場

①	施設名称	牧之原バイオガス発電所(静岡県牧之原市)
	施設規模	処理量:80t / 出力:650kW
	供用開始	2017年3月
②	施設名称	羽村バイオガス発電所(東京都羽村市)
	施設規模	処理量:80t / 出力:1,100kW
	供用開始	2020年7月

事業開発コンサルティング業務

①	施設名称	小牧バイオガス発電所(愛知県小牧市)
	施設規模	処理量:120t / 出力:1,300kW
	供用開始	2022年12月